

【Topic1】《該当ページ(主):目次》
「たまく」とあえて平仮名にしている理由は何ですか。読みにくいと感じますが。
⇒本計画書を少しでも分かりやすく、伝わりやすいものにするため、また、「違和感も大事」との御意見を踏まえ、「たまく」は平仮名としました。
読みやすさに配慮するため、文字の下に下線を引くなど、強調のあしらいを加え、たまくに続く“の”や“を”などの助詞の文字フォントを小さくしました。

たまくの計画

【Topic5】《該当ページ(主):P10》
「多摩区公園BOOK」の改訂版が先日完成しました。多摩区の139か所の公園を市民で探検してまとめた非常に貴重な冊子であり、公園の管理運営協議会の募集も載っているので、コラムという形でいいので入れていただけると嬉しい。
⇒P10の中段に、ミニミニコラムとして「多摩区公園BOOK」を掲載しました。



【Topic2】《該当ページ(主):目次》
障害者の「害」は、平仮名にすべきではないでしょうか。
⇒原則:「障がい者」表記としました。
例外:事業名や所管課名などは、「障害者」表記としました。

【Topic6】《該当ページ(主):P14》
基本方針1-3の高齢者・障がい者の事業・取組に「患者・家族会等のグループ支援」とあるが、「患者」とはどういった方を指しているのか。
⇒患者グループなど昔から使っている言葉を使用していたが、最近は「当事者」という方が適切なため、「当事者・家族会等のグループ支援」としました。

【Topic3】《該当ページ(主):目次》
統計データの部分について、「人口、高齢者の暮らし…」となっているが、「障がい者の暮らし」など障がい分野についても入れていただきたいです。
⇒「障害者手帳所持者数」の推移データとして掲載を予定していましたが、見出しとしても「障がい者の状況」として追加しました。

【Topic7】《該当ページ(主):P14、P33》
「町内会」と「町会」の記載が混在しているため、表記を統一していただきたいです。
⇒原則:「町内会」表記としました。
例外:固有名詞で使用されている場合などは、「町会」表記としました。
(例:多摩区町会連合会)

【Topic4】《該当ページ(主):P9》
P9の事業・取組の下に「問い合わせ先、窓口は〇〇ページに記載」と表記があると探しやすいのではないかと。
⇒各事業・取組の下に、「事業・取組の詳細はP〇〇に掲載しています」と表記しました。

事業・取組

- 子ども・子育てに関する情報提供
 - ・多摩区地域子育て情報BOOK
 - ・多摩区こども相談窓口
 - ・多摩区子育て応援冊子(たまっ子ノート)
 - ・保育所等の入所希望者に向けた説明動画の公開
- 子ども・子育てに関する講座の開催
 - ・両親学級、マタニティ食育教室
 - ・家庭・地域教育学級
 - ・ぷよぷよ(多胎児と親の会)
 - ・ちゅーりっぷセミナー(子育てセミナー)
 - ・こうのとりの会(高齢妊産婦の会)

事業・取組の詳細は、P87に掲載しています

【Topic8】《該当ページ(主):P18》
「Ankerフロンタウン生田」は基本的にスポーツ施設だが『「Ankerフロンタウン生田」と連携したスポーツ事業』としてしまうと、スポーツとしか連携しないという印象になってしまうため、スポーツと限定した書き方にしないほうが良いと思います。
⇒『「Ankerフロンタウン生田」との連携イベント・教室』としました。

